



(地域のシンボル)

あなたと行政を結ぶ

都祁まち だより

都祁まちづくり協議会会報

都祁まちづくり協議会

〒632-0292 奈良市都祁白石町1026番地の1
奈良市都祁行政センター内
TEL (0743) 82-0201(代)

奈良市のシンボル



奈良市の木
イチイガシ



奈良市の花
ナラノヤエザクラ



奈良市の鳥
ウグイス

(都祁地域シンボル)



地域推奨の木
つげ



地域推奨の花
スズラン



ウグイス

令和4年 春発行

Vol.21

新市建設の取組と 未来の変革へ 新たな備え！



(都祁中学校美術部作成)

あいさつ

都祁まちづくり協議会

会長 松田 徹二



新型コロナウイルスは、相変わらず変異しながら私たちの命を脅かしています。

都祁地域も地域活動が制限され、昨年は「つげまつり」「つげ夏まつり」、そして全国から多くのランナーが集う都祁高原マラソンも余儀なく中止となりました。

しかし農業体験は、人数制限等により濃密を避け開催し、県立山辺高校のご協力により、茶摘み体験や秋の高原野菜の収穫体験は、好評のうちに実施出来ました。

そして都祁地域コミュニティバスにつきまして、過日のアンケート結果で九〇%近くの方が運行継続を要望されており、今後一層多くの方に利用頂くため、運行ルート上の約40カ所に、運行案内標識を設置いたしました。

また今年、都祁交流センター

開館30周年を迎え、市総合財団と共に記念事業を開催し、多くの方に御来場頂きました。

本会の大きな事業目的であります新市建設計画の進捗に関しては、昨年二日にわたり奈良県・奈良市の関係部局へ早期実現を要望してきました。

新市建設計画以外にも、農業振興、地籍調査の早期完了、文化遺産の継承、商工会や森林組合の補助事業等、さらに高速インターネット回線が地域に網羅されるに伴い、「高速回線に魅力を感じる企業」の誘致にも取り組むよう要望しました。

今後也多岐にわたる課題について、粘り強く進めて行きたいと考えています。

地域の皆様が明るい希望を持って、安全安心の地域づくりができますように、皆様の協力よろしくお願いたします。

新市建設計画他県・市要望

本会では、合併以来新市建設計画の早期完了を目指し、例年県・市へ要望を行っております。本年度は令和3年11月5日に県、令和3年11月19日に市へ対し、松田会長、福西副会長、植田副会長、北相談役、そして都祁行政センターから今中東部振興監、浦川所長、植松地域振興課長とともに要望して参りました。

	要望事項	要望	回答
市 要 望	1. 一本松小倉線道路新設事業	早期実施	概略設計及び企業誘致を含めた調査委託を予定。当初の新徳線を改良する予定から、新規ルートの方で考えている。
	2. 新規優良企業誘致事業	積極的な取組	関係部署と連携しながら進めていきたい。
	3. コミュニティバス導入事業	継続	前年度同様の予算要求をしている。
	4. まちづくりに関する補助金について	継続	前年度同様の予算要求をしている。
	5. のぼりを線改良事業	早期完了	令和3年度、工事を実施。令和4年度も継続して工事予定。
	6. 合併記念公園建設事業の区域に所在する水路について	早期完了	地元と調整しながら、順次進めていく。
県 要 望	1. 大和高原工業団地開発計画の推進	早期推進	都祁地域の特性に応じた企業の誘致を行いたい。
	2. 国道25号改良事業	早期完了	小倉地区については、令和3年度より工事着手予定。針地区については、底地の整理後、取り掛かる予定。
	3. 県道奈良名張線改良事業	早期完了	令和3年度は、東紀寺町三丁目交差点東向き道路北側の側溝暗渠化による道路拡幅を予定。南側開渠については、引き続き地元の協力をお願いする。

都祁交流センター開館30周年記念事業

都祁交流センターは、平成3年11月にオープンし、30周年を迎えました。

当センターは、長年にわたり都祁地域の文化交流の拠点として大きな役割を果たしてきており、今後も運営を継続して頂くことは地域の願いであり、その為には私たちが今以上に活発な文化活動を継続して活用していくことが大事であります。

そこで、開館からの歴史を振り返り、広く地域の皆様を知って頂くことで、思いを寄せて頂き、今後一層多くの方に御利用頂くために、30周年記念事業の企画をされました。

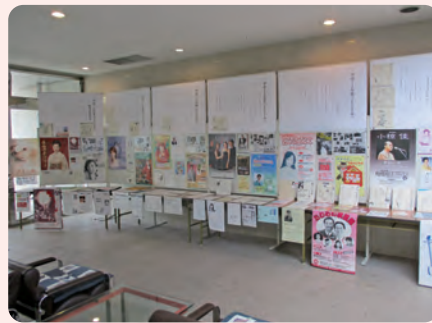
都祁まちづくり協議会としても、地域振興を図る上で重要な施設であることを鑑み、30年の歩みを基に未来へ進む通過点として意義があるのではないかと考え、当センターと共に30周年記念事業に取り組みました。

期間中多くの方に御来場いただき、ありがとうございました。

これからも、地域の大切な財産として、みんなで利用し守っていきましょう。



(オープニングコンサート)



(展示)



(キッチンカー)

令和3年度 農業交流体験事業

地域伝統文化部会

部会長 中辻圭弘

今年の農業体験交流事業は、コロナ過での開催となり、中止等危ぶまれましたが、無事開催することが出来ました。

応募人数五〇名に対し、小学生から八〇歳までの方々一六三名の応募がありました。

まずは七月に、山辺高校の協力を頂き茶摘み体験と夏野菜の収穫体験。都市部の方には珍しい茶摘み体験や、ヤギ・モルモットとのふれあい、夏野菜のとうもろこしやオクラの収穫は好評でした。

八月には、上深川観光農園の協力を頂いたブルーベリー採り体験。観光農園会場の密を防ぐため開催自体は中止とし、三日間に分けて自由参加という形で参加して頂きました。

十一月には、また山辺高校の協力を頂き、秋野菜の収穫体験(大根・白菜)・花の植付け体験(ガーデンシクラメン・ビオラ)を実施しました。

一年を通して、都祁高原の自然にふれあい、楽しんでいただきました。

令和4年度も、茶摘み体験、ブルーベリー採り等の様々な体験を計画しています。農業体験を通じて少しでも都祁の良さを感じて頂きたいと思っています。



11月 花の寄せ植え体験(山辺高校にて)



11月 白菜の収穫(山辺高校にて)



7月 お茶摘み(山辺高校にて)

コミュニティバス運行継続に向けて

本格的な人口減少社会が進む中、都祁地域においては加速する高齢化、自家用車に依存した生活スタイルの定着などにより、公共交通機関の利用者が減少しています。

こうした状況において、路線バス事業は厳しい状況が続いており、路線の縮小や廃止等が幾度も行われ、自家用車を自由に利用できる高齢者や子ども達等、交通弱者の日常生活における移動手段の確保が課題となっています。

また都祁地域においては、新市建設計画により、都祁地域を

巡回するコミュニティバスが運行されていますが、地域住民の要望を広くカバーできていない状況です。

近年、高齢者の自動車事故が多発し、社会問題となっており、今後益々高齢化が進む状況において地域住民の移動手段について、対策検討を進めなければなりません。

都祁行政センターが、令和3年度に都祁地域の住民対象に実施したコミュニティバスについてのアンケート調査結果では、配付数に対して約80%の回収率で、その内回答者の84%が「車

が運転できなくなった時コミュニティバスを利用したい」ということが明らかになりました。

都祁まちづくり協議会では、こうした状況を踏まえ、新市建設計画の事業推進に取り組む一環として、今後の継続を要望すると共に、多くの皆様にご利用頂けるような取組も必要であると考えています。

そこで、この度はコミュニティバス運行コース上に、運行案内標識（運行コース上は自由乗降となっております、バス停留所ではない）を設置することとしました。

都祁コミュニティバス運行事業は、地域の皆様におかれましても、将来自分たちの地域生活を支える大きな柱であり、欠くことのできない事業であるとの認識を深めていただき、今後も利用率向上に向けた取組に、ご協力頂きますよう、お願いいたします。

編集後記

平成十七年旧奈良市・旧月ヶ瀬村と合併し、合併協定に基づき新奈良市建設に寄与してきた「新市建設計画」が、令和七年に終わりを迎えます。

合併による激変を緩和するため、様々な優遇措置を受けてきた都祁地域が、中核市奈良の一員として今後どのような変化があるのか、予測もつきません。

これまでご協力頂いた自治会・行政と共に、住みよい都祁地域を創る礎となれるまち協を目指し、取り組んでいきます。

都祁まちだより

編集委員

